

## 高齢者の生きがいがづくり、社会参加に関することについて

### 基本方針 1 (3) 生きがいがづくりの推進

#### ① 学習機会の充実

主体的な学習機会や生きがいがづくり活動の確保を行うため、学習・交流の場としてニーズを踏まえた内容の充実を図り、公民館等における高齢者学級、市民大学等を展開し、高齢者が参加しやすい運営に努めています。

#### 【高齢者学級の参加人数】

区 分	第7期計画実績（見込）値			高齢者学級の主な活動内容
	H30年度	R元年度	R2年度	
鶴瀬公民館 (登録人数)	195	202		「鶴瀬学級」 教養講座（年6回）と趣味クラブ活動（月2回程度）を通じて、知識を高めるとともに、親睦を図っている。
南畑公民館 (延べ人数)	729	634		「なんばた学級」 生きがいがづくりの機会を提供するため、全体学級（月1回）とクラブ活動、学級だよりの発行を行っている。
水谷公民館 (延べ人数)	531	475		「水谷学級」 学習意欲の向上や仲間づくりの一助として、全体会（年10回）と各種サークル活動（月1～2回）を実施している。
水谷東公民館 (登録人数)	434	393		「熟年学級」 高齢者の身近な話題をテーマにした全体会と部活動（月1回）による会員同士の親睦・交流を図るため実施している。
鶴瀬西交流センター (在籍人数)	170	157		「水曜学級」 生活・健康等をテーマに学ぶ全体会（年10回）やサークル活動、学級だよりの発行、文集の作成を行っている。
ふじみ野交流センター (延べ人数)	223	227		「ふじみ野じゅく」 地域の方々の学びあいと交流を目的に、様々な事業を月1回程度開催。幅広い年齢層の方が参加している。

## ②老人福祉センターの利用促進

高齢者の健康増進、教養の向上、娯楽などの活動の場である老人福祉センターの利用促進や、高齢者が自主的な学習活動をすすめていけるよう、コミュニティ大学や老人クラブの教養講座などの主体的な活動を支援しています。

利用者の介護予防への取組みをすすめるとともに、利用者の状況に注意し、支援の必要な高齢者については、市や高齢者あんしん相談センター等関係機関との連携を図っています。

	第7期計画 目標値		
	H30年度	R元年度	R2年度
利用人数	42,660	43,280	43,900

	第7期計画 実績（見込）値			第8期計画 目標値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用人数	28,973	32,364	25,000	28,000	30,000	32,000
開館日数	208	265	249	298	294	296

※空調設備更新工事のため休館（H30年9月18日～H31年1月10日）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（R2年3月1日～6月1日）

<現状>市内唯一のセンターであり、利用促進を行っている。

【課題】今後も、高齢者の健康増進、教養の向上、娯楽などの活動の場が広がるよう、施設の充実を図っていく必要がある。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用条件を設けており、今後の利用について検討していく必要がある。

### ③老人クラブ活動・サークル活動の支援

老人クラブが活発に活動していけるよう、事業内容についての意見交換や先進的に活動している地域の取組みを学ぶなど、自主活動の活性化に向けて支援しています。

高齢者の健康づくりや生きがいづくりなど多様なニーズに対応できるよう、様々な高齢者のサークル活動や自主活動を支援しています。

	第7期計画目標値		
	H30年度	R元年度	R2年度
クラブ数	25	26	27
利用人数	1,560	1,613	1,666
うち男性	625	649	674
うち女性	935	964	992

	第7期計画 実績（見込）値			第8期計画 目標値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
クラブ数	23	22	21	21	21	21
利用人数	1,392	1,264	1,166	1,170	1,190	1,200
うち男性	552	517	488	480	490	500
うち女性	840	747	678	690	700	700

<現状> 高齢者人口は増加しているものの、価値観やライフスタイルが多様になってきており、定年後に老人クラブに加入する人が少なくなっている。

【課題】 老人クラブは自主的な団体であるが、情報提供等を随時行い、必要な支援をしていく必要がある。

## 基本方針1 (4) 社会参加の促進

### ③高齢者の就業への支援

就業意欲のある高齢者のニーズに対応するため、就業に関する情報の提供を行うとともに、関係機関と連携し、就業機会の確保をすすめています。

「公益社団法人 入間東部シルバー人材センター」は、富士見市、ふじみ野市、三芳町を範囲とする広域センターであり、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、国、富士見市、ふじみ野市及び三芳町から支援を受けて運営されている法人です。60歳以上の方が会員となり高齢者に働く機会を提供するシルバー人材センターでの就労が、社会参加の契機となり、介護予防につながる面もあることから、運営を支援しています。

また、シルバー人材センターの事業開拓や業務拡大、会員増加が図れるよう、市民及び市内事業所等に向けてセンターの周知に努めています。

#### 【入間東部シルバー人材センターの会員数】

	第7期計画 目標値		
	H30年度	R元年度	R2年度
会員数	2,310	2,425	2,540

	第7期計画 実績(見込)値			第8期計画 目標値		
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
会員数	2,129	2,163	2,127	2,150	2,170	2,200

＜現状＞シルバー人材センターは、高齢者の社会参加の機会と生きがいの充実を図るとともに地域社会に貢献することを目的として、企業や、家庭、地方公共団体から様々な仕事を引き受け、地域の経験豊かな高齢者の方々に仕事を提供している。シルバー人材センターが、社会的に認知されてきている。

【課題】高齢者の就業につながる一助として、業務委託による働く場の確保や活動の周知などによりセンターの運営支援を図っていく必要がある。

## 基本方針1 (3) 生きがいつくりの推進

### ④ 身近な通いの場の提供

#### ●高齡者サロン

地区社会福祉協議会、町会、自主運営で行われている高齡者サロンに対し、協力者と参加者が共に介護予防や閉じこもり防止をすすめる居場所としての高齡者サロンが今後も継続できるよう、社会福祉協議会など関係機関でアドバイスや情報交換など行いながら、運営に関わる側面的支援に努めています。

また、様々なニーズに応じた居場所づくりとして、お互いに参加・協力できる高齡者サロンになるよう、生きがいつくりを支援しています。

## 基本方針1 (4) 社会参加の促進

### ① ふじみ在宅福祉サービスセンターの充実

社会福祉協議会のふじみ在宅福祉サービスセンターでは、高齡者や身体の不自由な方などに対し有償で活動いただくボランティアの協力を得ながら、掃除や買い物などのちょっとした困りごとを手伝う、会員相互の家事援助活動を行っています。

## 基本方針4 (1) ボランティアや担い手の確保

### ① ボランティア活動の支援

社会福祉協議会を中心に各関係機関と連携しながら、ボランティア活動の支援をすすめます。

#### ●富士見市ボランティアセンター

社会福祉協議会の富士見市ボランティアセンターには、高齡者・障がい者・児童分野等のボランティアとして活動する団体・個人が登録をしています。

幅広い年齢層の方々や障がいを持たれている方などが、ご自身の経験や趣味、生きがいや本人の意思を尊重して活動ができるよう、また役割を一緒に見出せるよう、きめ細やかなコーディネートに努め、登録団体・個人との相互連携を図りながら、ボランティア活動の支援をすすめています。